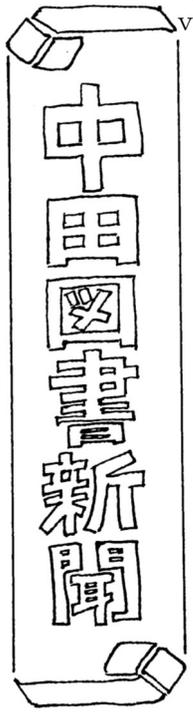


BOOKS なかだ的 #筑摩河出平凡へんな文庫



BOOKS なかだ掛尾本店本館・専門書館・コミックラボ 富山市掛尾町180-1 TEL 076-492-1192

『言海』 大槻文彦 ちくま学芸文庫 2200 円



出た時は本当に驚いた一冊。昔の版をそのまま複製するとは恐れ入りました。字が滅茶苦茶細かいけど、解説によれば文庫化で縮小したわけではなく、この大きさがもっとも出回っていた版型なんだそうです。昔の人はよっぽど目がよかったのか、これにもびっくり。

『シャボテン幻想』 龍膽寺雄 ちくま学芸文庫 1000 円



確かな知識で、サボテンと人間との関係性を熱く語った、サボテン愛に溢れた本。

サボテン愛好家はへんな人が多いと思う。

『食品サンプルの誕生』 野瀬泰申 ちくま文庫 800 円



「なぜここまでやるのか」という帯が目をついた。当たり前のように身近にあるので、食品サンプルの存在に、なぜ？どうして？と考えることはなかなかないだろう。サンプルの技術史がどこにも記録されていないという驚くべき状況の中で、熱意ある取材によって食品サンプルの歴史と技術をまとめた著者に脱帽だ！

『偉人たちのあんまりな死に方』 ジョージア・ブラック 河出文庫 680 円



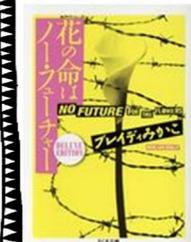
歴史に名を遺した偉人も、死に方は選べない。「大切なのはどう生きるか。」と言われても、こんな血なまぐさい死に方はやっぱり嫌！思いがけぬところで偉人たちが繋がっていることを示す、人物相関図も興味深い。

『仁義なきキリスト教史』 架神恭介 ちくま文庫 880 円



貧相なヤクザ・イエスは磔刑の苦痛に喘ぎながら叫んだ「おやっさん、おやっさん、なんでワシを見捨てたんじゃあ！」・・・キリスト教史をヤクザ設定に換えて紹介するという驚きの一冊。ところが読み進めるほどパロディの絶妙感が！

『花の命はノー・フューチャー』 ブレイディみかこ ちくま文庫 780 円



2017年の『子どもたちの階級闘争』（みすず書房）が第16回新潮ドキュメント賞を受賞した、ブレイディみかこ氏の処女作が大幅増補し、文庫化。パンクス上がりのお姉様のイギリスでの日々の不満、怒り、憤りがしたためられた一冊。飼いならされたく無い紳士淑女の皆様、是非！

『パンツの面目、ふんどしの沽券』 米原万里 ちくま文庫 640 円



タイトルからも察することができですが、シモの話が満載な、各国のパンツの起源について並々ならぬ思いの詰まった米原万里のエッセイ本です。ソ連女性のパンツ事情など、男性より女性が楽しめるはず。パンツの世界は奥深いのです。

『紅茶と薔薇の日々』 森茉莉 早川真理 ちくま文庫 740 円



この文庫はアンソロジーなのでいくつか読んだ文も出てきますが、森茉莉は、自分にとって、どこから何回読んでも心地よいのです。憧れの有閑老嬢の暮らしです。今現在のヘビーローテな一冊。

『ねにもつタイプ』 『なんらかの事情』 岸本佐知子 ちくま文庫各 600 円



今の私の心にドンピシャリ。裏に「読んでも1ミクロンの役にも立たず、教養もいっさい増えないこと請け合いです。」って宣言されるから、安心してゆっくりと無駄な時間を楽しめそう。

特別号

ツイッター上で密かに賑わいを見せている「#筑摩河出平凡へんな文庫」を記念して、新聞号外を発行しました！